



## 第26回日本心不全学会学術集会

知と心かよわすその先へ～人々のハピネスを求めて～

### パネルディスカッション

#### 01. ステージ A からの予防戦略

座長： 野出 孝一（佐賀大学医学部 循環器内科）

大石 充（鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学）

心不全はいったん発症（ステージ C）をすると寛解・増悪を繰り返しながらやがて死に至る難治性疾患である。近年多くの心不全治療薬が開発されてはいるが、やはり心不全リスク段階であるステージ A から進行させないことが重要である。本セッションでは心不全発症予防の観点から広く議論したい。

#### 02. 心不全の分類は EF のみで良いのか？

**【公募なし】**

座長： 倉林 正彦（群馬大学）

伊藤 浩（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学）

現在、心不全分類は LVEF に基づく HFrEF, HFmrEF, HFpEF がスタンダードである。この分類に根拠はあるのだろうか？心不全の病態や治療を考える際にこの分類を絶対的なものとして良いのであろうか？他のバイオマーカーを加えることでより心不全の病態に迫った分類が可能になるのはなかろうか？このような疑問に答えるためのセッションである。エキスパートとともに新たな分類の可能性を論じていきたい。

#### 03 急性心不全の予後改善へのマイルストーンとは

座長： 佐藤 直樹（かわぐち心臓呼吸器病院）

末永 祐哉（順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座）

本セッションでは急性心不全患者（ショックは除く）の予後改善を目指すためのマイルストーンは何か、をテーマとして、薬物治療・非薬物治療に限らず様々なアプローチやアイデアに関する研究を広く募集し、議論する。



## 第26回日本心不全学会学術集会

知と心かよわすその先へ～人々のハピネスを求めて～

### 04. この心臓は ICM or DCM ?

座長： 上村 史朗 (川崎医科大学 循環器内科)

大谷 朋仁 (大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

主たる病因が虚血か、心筋症によるものか判断が難しい心機能低下症例をしばしば経験する。各演者には 悩む点を含む症例の提示と、それに関連する診断、治療、転帰などのエビデンスを提示してもらい、考察することで議論を深めたい。

### 05. 心不全時の各臓器での代謝

座長： 的場 聖明 (京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科)

岸 拓弥 (国際医療福祉大学大学院医学研究科 循環器内科)

心不全では、全身諸臓器と呼応して病態が進展する。脳、交感神経、腎臓、肝臓、脂肪細胞、腸管などの状態はどのように変化し制御されるのか、最先端を研究を通してその機序と治療介入までを議論したい。

### 06. 心不全治療に心エコーをどう生かす？

座長： 増山 理 (JCHO 星ヶ丘医療センター)

瀬尾 由広 (名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)

心不全の診断、重症度判定、治療効果判定、および予後予測に心エコー検査は広く使用されています。本セッションでは、心エコーのこれらの役割について、ご自身の研究を含め最新の知見をディスカッション可能な演者を公募します。

### 07. 心不全のリスク層別化スコア

座長： 北風 政史 (阪和第二泉北病院)

井手 友美 (九州大学医学研究院 循環器内科学)

急激な高齢化社会において、入退院を繰り返す慢性心不全の予後は不良である。心不全における高精度な予後予測や、慢性心不全における緩和医療、心移植を含む心不全治療方針の決定に際して、患者背景、併存疾患、治療内容を統合した包括的なリスク層別化スコアの有用性について議論する。



## 第26回日本心不全学会学術集会

知と心かよわすその先へ～人々のハピネスを求めて～

### 08. どうする？心アミロイドーシス診療

座長： 福田 恵一（慶應義塾大学 循環器内科）

辻田 賢一（熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科）

心アミロイドーシス診療拠点の認定・整備が進む中、治療対象、治療効果判定、早期診断スキーム、あるいはこれらの地域間格差など課題が浮き彫りになってきた。各地の診療の取りくみを紹介頂き、これら課題の将来展望を議論したい。

### 09. DT・移植を見据えた重症心不全治療

座長： 小野 稔（東京大学 心臓外科）

布田 伸一（東京女子医科大学大学院 重症心不全制御学分野）

2021年に植込み型VADによるDT治療が保険適用となり、重症心不全治療の選択肢が大きく拡大された。心臓移植数が伸び悩むわが国においてDT治療の持つ意義は大きい。均霑化を含めてDT治療が社会に受容されるためにはどうすべきか、議論を深めたい。

### 10. 植込みデバイスの遠隔モニタリングによる心不全管理

**【公募なし】**

座長： 中野 由紀子（広島大学 循環器内科）

渡邊 英一（藤田医科大学ばんだね病院 循環器内科）

### 11. 心不全診療・治療におけるAIの有用性

座長： 安田 聡（東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野）

後藤 信一（Brigham and Women's Hospital／慶應義塾大学医学部 循環器内科）

心不全の診療・治療・予防の分野において、臨床応用可能なAIや、心不全の病態解明・新規治療開発につながるAIの使い方など、心不全に対するAI応用全般について最新の知見や利点・問題点を論じる。

### 12. 高齢者治療と保険診療を考える

**【公募なし】**

座長： 山本 一博（鳥取大学 循環器・内分泌代謝内科）

岡田 佳築（大阪大学大学院医学系研究科

変革的医療情報システム開発学／循環器内科学）

年々増加している国民医療費のうち、循環器疾患が占める割合は最も多く、75歳以上では、さらに多くなる。高齢者医療においても、医療費の議論は避けて通ることはできないと考えられ、医療費適正化の観点も踏まえた高齢者の心不全治療はどうあるべきか、議論を深めたい。